

平成30年度定期大会のご案内

今年度の定期大会は、富山地学会との共催にて、富山大学五福キャンパス人文学部での開催となりました。初日の8月26日午後には、ワークショップ・フィールドワークからなる特別企画「地図学カレッジ」を開催いたします。27日・28日には、口頭・ポスター発表、地図・図書の展示に加えて、国際地図学協会（ICA）会長の特別講演、「オリエンテーリングと地図」に関するシンポジウム、「西日本豪雨災害対応」のポスターセッションなど、バラエティに富む企画を用意しています。また、29日には黒部川扇状地での巡検も企画されています。どうぞお楽しみください。

開催期日

平成30年8月26日（日）13:00～17:00、27日（月）9:45～19:30、28日（火）10:30～15:30、29日（水）9:10～17:00 巡検
会場および会場へのアクセス

会場 富山大学五福キャンパス人文学部 〒930-8555 富山市五福3190番地

アクセス JR富山駅前の富山地铁・市内電車「富山駅」停留所にて2系統（大学前行）に乗車（約15分）、
終点「大学前」停留所下車 徒歩で正門まで約5分

または、JR富山駅南口バスターミナル3番のりばにて富山地铁・路線バス「富山大学前経由」に乗車
（約20分）、「富山大学前」バス停下車 正門まですぐ

※詳しくは、<https://www.u-toyama.ac.jp/access/index.html> をご参照下さい。



大会参加費

普通会員・特別会員団体構成員・共催団体会員：2,000円 学生会員：1,000円 非会員：3,000円

※ 参加費には発表論文・資料集代も含まれます。定期大会に参加されず、発表論文・資料集の購入を希望される会員には、一冊700円（送料込）で頒布します。

※ 3日間ともに地図・図書展示、の見学は無料です。

※ 26日開催の「地図学カレッジ」も参加は原則無料ですが、資料代（1,000円）の必要なセッションがあります。

※ 懇親会費は5,000円

※ 巡検参加費は4,000円（バス代、資料代）

その他・詳細についてのお問い合わせ先

学会事務局 〒153-8522 東京都目黒区青葉台4-9-6 一般財団法人日本地図センター2階

日本地図学会事務局 電話・FAX:03-3485-5410

E-mail: info@jcacj.org ホームページ: <http://jcacj.org>

プログラム

会 場

受付・総合案内： 人文学部校舎3階 ラウンジ

第1会場（特別講演，口頭発表，シンポジウム）： 人文学部校舎3階 第6講義室

第2会場（ポスター発表，地図・図書・書籍展示，

西日本豪雨災害対応ポスターセッション）： 人文学部校舎3階 第5講義室

第3会場（特別企画「地図学カレッジ」，評議員会）： 人文学部校舎2階 第3講義室

会員休憩所： 人文学部校舎2階 第3講義室（企画等のない時間帯），人文学部校舎3階 ラウンジ

懇親会会場： カフェ AZAMI

第1日 8月26日（日）13時00分～17時00分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	<p>《特別企画》 13時00分～17時00分 「地図学カレッジ（富山）」 2022年から始まる 高校必修科目「地理総合」へ向けて 指導要領・解説の公開を受け、国土地理院のWeb GIS「地理院地図」の4月に始まった新しい機能やiPadなどのフィールドワークに適した地図アプリや調査用白地図等のベースマップを紹介するワークショップ，ならびにARを使ったフィールドワークを実施します。</p> <p>【ワークショップ】 「地理総合」の授業でこのように使ってみよう 講師： 1. 太田 弘（慶應義塾普通部、日本地図学会常任委員） 2. 伊藤 智章（静岡県立裾野高校） 協力 ㈱ゼンリン マップデザイン事業本部 ほか、地図とGIS専門部会 部員による講義とワークショップを開催します。 *参加費：資料代1,000円が必要です。 ゼンリンフィールドワークキット「まち探検キット」を使用します。 参加希望の方は無線ルーターとコンピュータ，もしくは通信機能のあるiPadやタブレットをお持ちください。</p> <p>【フィールドワーク】 スマートフォンとARを使った富山のまちあるき ～「ますのすし」のひみつ～ 講師： 大西宏治（富山大）</p>	第3会場・富山市街地

地図・図書等の展示時間：13時00分～17時00分

時間	題目・氏名	掲載ページ
	《地図の利用と認知》9時45分～10時30分	第1会場
9:45	O-1 大学生の地図帳利用と地図表現される空間情報の認知との関係 落合康浩(日本大)	2
10:00	O-2 オンライン調査に基づく地図利用の世代間比較 若林芳樹(首都大)	4
10:15	O-3 首都圏居住者における居住地選好の特色 井村博宣(日本大)	6
	《地図作製》10時30分～11時15分	第1会場
10:30	O-4 『戦前期外地火災保険特殊地図集成』について 辻原万規彦*(熊本県立大)・青井哲人(明治大)・角哲(名古屋市立大)	8
10:45	O-5 市民活動で集約したバリア情報と歩道マップ作製の試み 熊谷新*・荒松拳・佐藤昌貴・原島克則・石川剛(東京地図研究社)	10
11:00	O-6 空間情報による「立山ざらざら越え」の考察 秋山幸秀・酒井拓也(朝日航洋)	12
	《防災と地図》11時15分～11時30分	第1会場
11:15	O-7 災害対応を支える空間表現の新技术—日本地図学会防災委員会の設置によせて— 宇根寛(国土地理院)	14
11:30	《休憩》11時30分～11時35分	
	《ポスター(一般発表)紹介》11時35分～11時50分	第1会場
11:35	P-1 ジオパーク地図における地形表現方法の検討—茨城県北ジオパーク構想を対象にして— 今泉利架(朝日航洋)・小荒井衛(茨城大)	36
11:38	P-2 Station names in Japan: a perspective from representation Tianqi Xia, Xiaoya Song, Min Lu, Xuan Song, Ryosuke Shibasaki (The University of Tokyo)	38
11:41	P-3 西の鯖街道マップの作成～紙地図とクラウドマップの融合～ 平間元輝・原雄一(京都学園大)	40
11:44	P-4 カラコラム山脈パス—氷河における1967～2015年の末端範囲の地図化と空間変化 梶山貴弘(日本大)	42
11:47	P-5 東京大学柏図書館が所蔵する紙地図のデジタルアーカイブ化の試み 鍛冶秀紀(東京大)・Lu Min(九州大)・Si Ruochen(東京大)・有川正俊(秋田大)・小口高(東京大)	44
	《地図・図書展示のデモ紹介》11時50分～12時00分	第1会場
11:50	国土地理院 海上保安庁 地図情報センター 日本水路協会 朝日航洋 柏書房 東京カートグラフィック 東京地図研究社 北海道地図	54
	《昼休み》12時00分～13時00分	

12:10	評議員会(12時10分～12時50分)	第3会場	
13:00	《ポスター発表コアタイム、地図・図書展示デモ、 西日本豪雨災害ポスターセッション》13時00分～14時00分	第2会場ほか	
14:00	《シンポジウム》14時00分～16時00分	第1会場	
14:00	Sy-1 オリエンテーリングと地図ーウルトラヘビーユーザーの視点からー 第1部 主旨説明 小林岳人(千葉県立千葉高) 基調講演「オリエンテーリングと地図」について 村越 真(静岡大)		46
	第2部 ～「走りながら読める地図」を目指して～ 誇張と省略の基礎理論 西村徳真(Nishi Pro) 「地図が読める」から「地図が使える」へ: 地図コミュニケーション理論を超えて 村越 真 「オリエンテーリングと地図」～学校教育における万能の教育ツール～ 小林岳人		
	第3部 総合討論 総 評		
16:10	《ICA 会長 特別講演》16時10分～17時10分 L-1 ICA, maps, and challenges of mapping SDG indicators data Menno-Jan KRAAK (ICA President, University of Twente)	第1会場	51
17:30	《懇親会》17時30分～19時30分	カフェ AZAMI	

地図・図書等の展示時間: 10時00分～17時00分

第3日 8月28日(火) 10時30分～15時30分

*は登壇予定者

時間	題目・氏名	掲載 ページ
10:30	《海洋情報と地図》10時30分～11時00分 O-8 航程線についての「舵角」用語の再検討 政春尋志(東洋大)	16
10:45	O-9 海上保安庁海洋情報部「海洋情報資料館」所蔵の石版原図 亀井啓一郎*(立正大・非)・君川静夫(ユーリバー)・ 戸田真夏(青山学院大・非)・青木訓穂(JA さがみ)	18

	《地図学史》11時00分～12時00分	第1会場	
11:00	O-10 伊能忠敬磁針測量方位角原簿国宝「山島方位記」の文理融合解析オープンサイエンス 辻本元博（地球電磁気地球惑星圏学会会員）		20
11:15	O-11 明治初期フランス地図測量技術の導入とその後—明治20年代の『地形學教程』への影響— 細井將右		22
11:30	O-12 明治初期における我が国のNGIAの成立過程 佐藤潤（国土地理院）		24
11:45	O-13 わが国の地形図読図史からみた籠瀬良明『地図読解入門』 ト部勝彦（日本大）		26
12:00	《昼休み》12時00分～13時00分		
	《測量・観測と地図》13時00分～13時45分	第1会場	
13:00	O-14 電子地図を活用した道迷いによる山岳遭難の防止 原雄一（京都学園大）		28
13:15	O-15 空中写真とSfM-MVS技術による山間地の積雪深マッピングの検討 中埜貴元・大野裕幸（国土地理院）		30
13:30	O-16 UAVを用いた測量実習と地図描画 黒木貴一（福岡教育大）		32
	《地域資源と地図》13時45分～14時00分	第1会場	
13:45	O-17 立山黒部ジオパークの現状と目標 水嶋一雄（黒部川扇状地研究所）・山岡勇太（立山黒部ジオパーク協会）		34
	《巡検案内》14時00分～14時15分		
14:00	黒部川扇状地地域の環境と社会 水嶋一雄（黒部川扇状地研究所）		
	《休憩》14時15分～14時30分		
	《ICC(国際地図学会議)2019 東京大会にむけて》14時30分～15時00分	第1会場	
14:30	森田喬（日本地図学会会長・法政大名誉教授）		
15:00	《地図展優秀賞表彰式》15時00分～15時30分	第1会場	

地図・図書等の展示時間：10時30分～14時00分

第4日 8月29日(水) 9時10分～17時00分

時間	コース等	掲載 ページ
9:10	<p>《巡 検》9時10分～17時00分 黒部川扇状地</p> <p>黒部川扇状地地域の環境と社会</p> <p>集合：9:10 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」駅 改札口付近</p> <p>出発：9:30 ～ 黒部市・入善町を巡るコース～ (貸し切りバス)</p> <p>解散：17:00 北陸新幹線「黒部宇奈月温泉」駅前</p> <p>案内者：水嶋一雄(黒部川扇状地研究所)</p> <p>コース(予定)</p> <p>黒部宇奈月温泉駅～愛本(扇頂)～墓ノ木自然公園(段丘礫層)～舟見(北国街道宿場)～黒東第三発電所～小摺戸(黒部川旧堤防)～水の小径～入善(黒部川扇状地研究所)～杉沢の沢スギ～高瀬(扇端湧水)～園家山砂丘(一等三角点, 海岸浸食)～海洋深層水パーク～黒部川河口～生地(黒部漁港, 扇端湧水)～宮野運動公園(扇央の俯瞰)～黒部宇奈月温泉駅</p> <p>1:25,000 地形図「三日市」「舟見」「泊」「青木」</p>	